

会長就任のご挨拶

皆さんこんにちは。只今、第3号議案で皆様のご承認をいただき、2018年2019年度のNPO法人岐阜県腎臓病協議会の会長を務めさせていただきます大橋廣義と申します。どうぞ、よろしくお願い致します。

今、NPO岐腎協が抱える問題として、①患者の高齢化、②患者会の役員後継者問題、③会員の患者会離れ(会への未加入)等が起こっています。そして、④医療費問題です。運動強化のための重要課題は、現在のマル重(福祉医療費助成制度)に患者自己負担導入がされることなく、現状維持させる要望運動です。私が透析を始めた頃、導入病院で知り合った方が、その患者会会長さんで患者会への入会を勧誘されました。当時、私はCAPD(腹膜透析)をしており、HD(血液透析)の患者の方とはほとんど交流がありませんでしたので、入会を躊躇しておりました。でも、その会長さんは会う度に、いつも透析関連の話や患者会の話の色々話していただきました。5年程で私は今の病院でHD(血液透析)に移行しました。導入病院でその会長さんに『HD(血液透析)になったら会に入ってくれよ』と熱心に頼まれていましたので、訳も分からず患者会に入りました。透析を始めて、およそ24年が経ち、患者会活動に参加する中で、年々思う事ですが、改めて医療費の心配なく、会社勤めも出来、家族と楽しく暮らすことが出来ていることに、本当に感謝しています。患者会入会の勧誘は、未加入者への自身が受けている恩恵をすべて教えてあげることだと思います。何事もなく安心して、安定した生活が送れている事が最大のメリットです。この多くの医療制度が無ければ殆どの方が、今ここには存在していないと思います。今では、透析患者の方々も沢山の福祉制度を受けていますが、この制度はすべて先人の方々が患者会を作り、血の滲む、命を懸けて勝ち取った制度だと聞いていますし、これらの制度が後退することなく継続・拡充するために、私たちは現在もいくつかの運動を継続しています。今、頑張っている患者会の会長さん(役員さん)にお願いします。若い会員さんに声を掛け、役員になることの意義・重要さを教えて、後継者作りにご尽力ください。どうかこの制度の維持と、さらなる運動の発展のために皆様のお力をお貸し下さい。

よろしくお願い致します。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。